



題字は松井岳洋筆

No. 407
平成23年5月

発行
財団法人日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

みんなで増やそう新会員！

副会長(兼)総務部長 上村 岳章

先日大震災後に久しぶりに総本部の青少年育成部会が招集され参加してまいりました。私を含めて四名で構成されています。



いかにして青壮年の会員増強を図るのかについて検討議論を重ねております。22年度は増強のため協議に認可団体の青壮年会員(19歳から49歳)を招き色々な話し合いをして頂き如何にしたら会員増強が図れるか話し合いの中にヒントがあるのではないかと探っております。

認可団体長及び青壮年自身からのアンケートを提出して頂きこの程アンケートを纏めました。昨年は四地区(神静・関東・中部・九州)で行われ、全会員合計の内青少年は13%弱、青壮年はわずか4%です。我が碩心会はと言うと、青少年は1.4%、青壮年は4.6%

です。

将来を担うべき次世代の青少年、壮年会員の少なさに今更ながら愕然とします。又、青壮年会員自身の経験から「入会したきつかけは」の設問に対しての答えは「家族から勧められて」が32%「友人から勧められて」は24%で、合わせて60%です。

このことからやはり会員の家族の方々へ一度勧めていただきたいこととお友達を大切にして勧誘していただきたいことです。

幸い今年に入って数名の少年少女がご家族に勧められ入会の便りもございます。

又、詩吟の良い所の設問に対し「健康によい」が61%「詩歌が覚えられる」が52%「歴史探訪が出来る」は39%あり、特に現代人は健康志向が伺え大いにこの点を宣伝すべきであると思われれます。

アンケートの結果を踏まえ、普及部の活動も含めて会員の皆様に今一度詩吟の良さを訴えて会員増強にご協力のほどをお願い申し上げます。

行事予定

碩心会総会

日時 5月29日(日) 午後1時～2時45分

場所 逗子小学校音楽室

詩吟体験教室 Let's SHIGIN!

日時 6月11日(土) 午後1時～3時

場所 葉山町立図書館・2階ホール

神奈川岳風連合会青少年吟詠大会

日時 6月12日(日) 開会午前10時

場所 レイ・ウエル鎌倉4階ホール

神静地区師範吟詠大会及び講習会

日時 6月18日(土) 開会午前10時

場所 小田原市民文化会館

第31回碩心会吟詠温習会

日時 7月3日(日) 開場午前9時40分

場所 葉山町福祉文化会館大ホール

総本部第57回夏季吟道大学

日時 7月23日(土) 受付午前9時15分

7月24日(日) 受付午前9時15分

場所 日本教育会館

碩心会夏季吟詠講座

日時 8月21日(日)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

謹んで大震災の

お見舞いを申し上げます

会長 内山 岳 青

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

連日の報道で地震と津波および原発事故による被害を見るにつけ、自然の力の前での人間の無力さと人間が作り上げた安全神話がいかにろいものであったかを思い知らされております。

幸い私達は直接の被害を受けることなくほぼ平常通りの生活ができており、趣味の詩吟も支障なく続けられておりますことはまことにありがたい限りです。

また、碩心会の姉妹会である寒河江吟友会の皆様にも直接の被害は無かつた事を確認でき安堵いたしました。ただ、碩心会会員の中にもご親類縁者等で被害を受けられた方がおられると聞くにつけ胸が痛みます。

このような中で碩心会としては直接的な支援活動はできませんが、皆様の御協力を得て義援金を贈り、震災に遭われた方を少しでも支援させていただこうと思います。被災された方及び被災地の1日も早い復興を心よりお祈りいたします。

平成23年4月

昇伝段位認許

(平成23年4月1日付)

少年二段 1名

201 広瀬直樹

初段 7名

207 山中郁子

212 吉田信次

216 常磐正人

二段 2名

198 高山和子

初伝 5名

190 野村耀泉

194 古敷谷江泉

三段 4名

184 堀川弘泉

186 中山辰泉

187 村上遥泉

191 畠山竹泉

192 小川美泉

195 目黒花泉

199 井戸田喜美子

208 有田暢雄

211 松井夏子

213 笈川貴子

214 白石政子

218 岩崎健泉

219 加藤茗泉

220 永田静泉

221 村田謙泉

222 上村炎風

223 石渡美風

224 高森瑛山

225 岩田義風

226 茨城風日

皆伝位を認許して

鴨原隆風

4月16日(土)葉山町福祉文化会館大会議室において、春季審査会が行われ、長年目標としてきた皆伝位を受審することができた。

昭和41年6月に入門以来、御指導頂いた林岳菱・寺島岳笙・草柳武岳・松井岳篁各先生方の懐かしいお姿が思い起こされ、皆伝受審を報告し感謝申し上げた次第である。ただ、一人心配な恩師がいる。「俺は謙風

188 岩崎健泉

180 加藤茗泉

181 永田静泉

182 村田謙泉

174 齊藤悠山

163 鈴木康山

164 山崎勝山

157 寺村妙山

158 高森瑛山

142 吉田千風

143 岩田義風

130 吉原益風

131 石渡美風

122 上村炎風

122 上村炎風

という雅号がとても気に入っているから、生涯これでいく」と言つて、四十余年の吟道生活を風号のまま通した気骨の人椿本謙風先生である。三十歳代の前半に、転勤先の茨城県日立市から水戸市まで三年間通い、その名吟に心底酔い痴れたものである。残念ながら病には勝てず、早世された謙風先生の苦言が、耳許まで響いてくるようだ。「馬鹿者ノ皆伝なんか受ける奴がいるか。吟の下手な奴に限つて、段や伝位を欲しがるのだから。困つたもんだ。」

鎌倉吟舞連春季発表会

4月3日(日)午後1時から鎌倉市詩吟舞連盟春季発表会がレイ・ウエル鎌倉で開催され、開会に先立ち東日本大震災での犠牲者のご冥福を祈って全員で黙とうを捧げました。

開会の言葉で、被災地の皆様に頑張れの声が届くよう精一杯吟じてもらいたい旨があり、元氣溢れる吟が開始されました。

吟詠、詩舞と次々に披露され、客席から熱演に「ブラボー」の大声が度々発せられ、なごやかな内にも緊張ある会が進行しました。

最後に、大きな声で堂々と吟ぜられた、命を大切に健康に留意して吟に精進しましょう、計画停電中ながら無事終了できた旨の言葉があり修了しました。高見

雅号の由来

孫の成長とともに

滝の坂支部 森 祐 泉

初伝の審査を受ける時、雅号も申請するようになると言われ、初めてのことなのであれこれと思い悩みました。

本名の「弘之」の中から一字をとるとすると、「之泉」の響きのほうが気に入っているのですが、中伝、奥伝とその都度雅号を変え

てもよいとのことでしたので、「之」は奥伝までとっておこうと決めました。



詩吟教場での練習後はいつも反省会で盛り上がっています。初伝を受ける頃は、サンゴ礁の南の島と論島の黒糖焼酎「有泉」を飲み干すのが楽しみになっていました。この「有泉」

りでなく、ひよっとして雅号にも使えそうなる響きをもっていると感じ、候補の一番手に考えるようになりました。しかし、焼酎の商標をそのまま雅号にするのでは、酒飲みだけを暴露するようで憚かれ音の「ゆうせん」を頂いて、別の漢字を充てることにしました。

孫には、祐也、晶の二人がいますが、妻は晶を雅号に選んだので、もう一人の祐也の一字「祐」を「ゆうせん」の「ゆう」に選びました。以上が「祐泉」の由来です。

「祐」という字は「天祐」というように使われます。天の祐で、無事奥伝まで進み、

「之風」の雅号に引き継がれるのを練習の励みにしています。孫も中学生に進むので、拝借した「祐」とも別れ、互いに成長を喜べればと期待しています。

名は未来を表すか

滝の坂支部 森 晶 泉

親に貰った名で育ち、結婚で姓が変わりました。その名にすっかり馴染んだところで詩吟に出会い、新しく名がいただけることになりました。

まず本名「紀子」の「紀」の字を使うことを考えました。しかし、あの皇紀二千六百年生まれで、紀の付く名はクラスに四、五名はいたのを思い出しました。紀は好きな字なのですが、変身してみたくありません。

詩吟の練習を聞いて以来、「ばあばの変な歌」と言う孫娘「晶」の笑顔が浮かびました。「晶」の字にしようとパツと閃きました。明るくきらきら輝く光のような孫娘の笑顔といつも一緒にいられるような気がしました。「晶泉」の誕生です。夫は「僕の字は無いの？」と言わせたくない、男の孫の名をとって「祐泉」となったようです。

孫の筋は禁じ手なのかも知れませんが、先手必勝まずは婦唱夫随となりました。

支部紹介

幸和支部近況

幸和支部 黒田 慶 岳

幸和支部発足から18年。立ちあげられた西川岳幸先生は、残念ながら昨年亡くなられましたが、先生は当初より

①長く詩吟を楽しむ

②意欲のある人はどんどんチャレンジするという大きな方針を立てられました。その精神はしっかりと受け継がれ、今年の神静地区吟詠大会、優秀吟者の部で傾心会代表として出場する会員もいます。現在女性5名が温厚な嶋原隆風先生のご指導の下、横浜市内の地区センターで吟を楽しんでいます。稽古は発声練習に始まり吟道精神、傾心会の詩、朗詠と続きその後、過去に習得した韻読や新体詩等、比較的長い吟を合吟します。今年から来年にかけて高段者の審査を控えており、今は全員が審査課題中心に頑張っています。毎年秋に行われる地区センター祭では全員が発表し、会員増強に繋がることを期待していますがなかなかです。



“みんな”で増やそう新会員

会員のうごき

*入会 (4月1日付)

- 222 吉田朋之進 (紫陽花)
葉山町堀内1218-3
☎ 046-875-0653 紹介者 池田清岳
- 223 石川十二 (滝の坂)
葉山町堀内1556-1
☎ 046-875-2499 紹介者 上村岳章
- 224 笠川 襄 (東伏見)
葉山町堀内1950-77
☎ 046-876-3553 紹介者 レッツ詩吟
- 225 曾村静子 (紫陽花)
葉山町堀内1045
☎ 046-875-0342 紹介者 池田清岳
- 226 矢島時子 (紫陽花)
葉山町堀内1454-3
☎ 046-875-4528 紹介者 池田清岳

*退会

- 20 白井岳麗 (諏訪) 65 石黒恵岳 (あずま)
67 神藤葉岳 (瀨朗) 97 金子憲岳 (瀨朗)
113 斎須淳風 (あずま) 173 鈴木伯泉 (滝の坂)
185 宮沢英泉 (長柄) 205 五十君よし (東伏見)
220 穴吹早泉 (幸和)

*支部長変更 (滝の坂支部)

56 西山岳隆 → 137 坂上葉風

逗子吟舞連発表大会

第43回逗子市詩吟舞発表大会が5月8日(日)逗子文化プラザなぎさホールに約230名が参加して開催されました。

10時開会、森岳観(吟舞連副理事長)の開会のことばに続いて全員で「富士山」を大合吟の後、プログラムにそって進行されました。少年少女吟詠は3名が出吟し、広瀬直樹君の他青風会・神風会からも元気な喉を披露しました。各団体とも声高らかに吟じる姿は素晴らしいものでありました。

人見

編集後記

来る7月3日(日)、第31回「傾心会吟詠温習会」が企画部主導の下、準備が進められています。

すでに各支部でも勉強し練習が行われている事と思えます。当日は素晴らしい吟詠を発表し、会員増強に繋がるような楽しい会にしたいですね。

広報部

23年5月1日現在	会員数
葉山地区	118名
逗子・大船地区	94名
合計	212名